

地域と産業

7月5日（水）
和歌山大学の先生による
オンライン出前講座を実施しまし
た。

1 学年 総合的な探究の時間では、4 月
から、「地域と文化」「地域と防災」をテーマに
学習を進めてきました。7 月に入り、新たなテ
ーマとして「地域の産業」を取り上げ、主にデ
ータの扱い方を学んでいきます。その手始めと
して、和歌山大学 社会インフォマティクス学
環 松田憲幸教授によるオンライン出前授業
を実施しました。AI 時代を迎え、人工知能
や ChatGPT などが SF 小説の中ではなく私
たちの生活に身近なものになってきています。
2 学年の探究学習では、効果的にデータを
活用することができるよう、最新の情報につい
てお聞きすることができました。



教室のプロジェクターを使って、講義を受けました。



和歌山大学 社会インフォマティクス学環 松田 憲幸 教授

データは 21 世紀の石油 計り知れない価値をもつもの

【講義の概要】

データは「21 世紀の石油」と言われるほど重要。私たちが普段意識していない行動も、AI が分析してその確率を計算している。

今 ChatGPT が話題になっているが、人間のように理解して文を作っているわけではない。ある文字列の次に来そうな文字を予想しているだけ。例えば「おは」の文字列の次には「よう」が来る確率が高いと、膨大なデータの中から導き出している。

AI は、多くの情報を学習することができる。しかし、複数の物事の中の「相関関係」は理解できるが、人が物事を結びつける「因果関係」を理解することは難しい。だから、問いに対してとんちんかんな答えを出すことがある。

アンケート調査を行うときは、対象や聞き方によって信憑性の低いデータになってしまうことがある。偏りのない公正なデータになるよう常に心がけるべきである。

【感想】 公平にデータを集める ことの大切さ

もし、データを何かとりたいときに、無作為に抽出してもデータの集まり方に偏りが出る場合もあるので、注意してアンケートをすることが大切だとよくわかりました。

【感想】 ChatGPT 良くも悪くも自分次第

チャット GPT みたいに文を書いてくれるのは確かにすごいけど、それは全部コンピューター任せなので良くないし悪くもない。自分で書くか、チャット GPT にまかせるかは、その問題次第なので、そこをしっかりと判断すれば良いと思う。

【感想】 AI と私たちの未来

AI の技術で私たちの生活は便利になることもあるけど、まだ人の認識には追いついていないことがわかった。AI に頼りすぎずに生活することが大切だと気づいた。人工知能には限界があって、それを人間が補うことがこれからの未来に必要なだとわかった。

